

「平成29年度に実施した仕事」の振返りシート

記入日 平成30年 3月 30日

仕事の内容	自立支援日常生活用具給付事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 高齢者保健福祉の推進

(総合計画書 51 ページ)

予算名	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業	4	高齢者日常生活支援事業費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 介護認定申請の結果、要介護・要支援に該当しないと認定された在宅高齢者のうち、運動機能の低下が認められた者。							① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 市内65歳以上の高齢者数(平成29年4月1日現在)				
	② ①をどのような状態にしたいですか。[簡潔に] 自立した日常生活が容易な状態							② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 用具の給付を受けた者の数				
	③ そのために何をしましたか。 在宅の高齢者に対し、自立を支援するための日常生活用具(入浴補助用具・歩行支援用具など)を現物給付する。 申請希望があった際には、高齢者ほっと支援センターの相談員が状況確認を行い、市が給付の可否を決定する。 所得に応じて1割もしくは2割の利用者負担あり。							③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 用具の給付を受けた者の数				

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	21,387	21,957	22,350		
	成果指標	②の数値	人	0	0	0		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値		0	0	0		

3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円					
		特定財源	円					
		(うち受益者負担)	円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.0	0.0		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
職員人件費(再任用以外)		円	0	0	0			
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	0	0	0			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成2年に事業開始。自立を支援するための日常生活用具を給付し、当該高齢者の日常生活を容易にすることを目的に開始。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 介護保険制度開始に伴い、利用者数は減少しており、近年実績はない。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	平成26年度までは年間に数件ずつ申請があったが、平成27年度からは相談はあるが、申請には至らなかった。	

仕 事 の 内 容	自立支援日常生活用具給付事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。 市報における周知 見守りぼっくすの訪問時における周知		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 介護保険制度の活用により、制度の希望者が少なかった。		
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など) これまでの実績を勘案して、事業の方向性を検討する。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。 他市の状況を確認する。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成 果	成果を維持する。	経 費	仕事の経費は維持する。